

健康づくりと環境美化運動

啓発作品

作文の部 入賞者

町内より応募しており
ました健康づくりと環境
美化運動啓発作品の作文
の部、人賞作品4点を今
月号より掲載します。

健康づくり

三隅中二年

角村圭人

我が家の大黒柱、父が腰の骨がずれて入院した。日頃丈夫で病氣しらず。仕事を休んだことのない父が入院ですっかり気が弱くなってしまった。通院になってからも、痛みはひかないようだ。日頃元気なだけに我が家は灯が消えたようになっちゃった。

健康な時は気付かないけど、病気になるとうわかる事がたくさんある。健康の大切さを身をもって知らされる。

僕は、たまには入院でもしてみたいなあと思うことがある。

。学校も行かなくていいし、何もしなくて、好きな本をひがな一日中読んでいられるからだ。何も考えず、ぼーとして過ごせるのじゃないかなと思っていた。

入院した父も、最初はそういう考えがあったみたいだ。日頃から、「たまには入院でもしてゆっくりしたいな。」と、じょうだんめかしに言っていた。でも実際にいざ入院してみると次の日にはもう、「退院したい、早く家に帰りたい。」の連発だった。祖母が、この病院の看護婦なので、何度も早く退院できるように頼んでいた。祖母は、「なんてわがままで、行儀の悪い患者さんだろう。これじゃあ、なおるものもなおらんよな。」と言っていた。

確かにそうだ。父はなおることよりも、早く退院して、仕事に行く事ばかり考えていた。父の病室には、もうずっと寝たきりの人、何年も入院して、いつ退院できるか

分からない人もいたというのに。

人はいつ、けがや病気で自分の健康を害することがあるかわからない。とくに年をとるとささいな事から病気になるたりすることが多い。自分の体のことは自分でしかわからないこともままある事だ。

僕はまだ中学生なので、健康づくりと言われてもどうもぴんとこない。まわりで、一番健康で元気な人はと考えてみた。「そうだ、いる、いる。あの人達をおいてほかにはおらん、おらん。」そう、僕の祖父母だ。祖父は73歳、祖母は65歳。二人ともびんびんの元氣者だ。

祖父は若い頃、陸上で県体に出場した、スポーツマン。今でもジョギングをしていて、百米競走では僕に負けない自信をもっている。たしかに、70代というのに、姿勢がぴんとしていて、筋肉質で年には見えない体をしている。

祖母がこれまた素晴らしい。今だにむし歯が一本もなくて、ない歯がないというくらい驚異の歯の持ち主。だから治療で歯医者に行った事がないというからびっくりだ。卓球やバレーもするが、一番の趣味はカラオケだ。大きな声で

歌う事は健康にいいのかもしれない。

そして、二人の最大の元氣の素は、何があっても、いやな事があってもよくよしなという事だ。笑って何でも吹き飛ばす。自分はもう年だからとあきらめず、何にでも挑戦する気持ち、努力が大切だと言う。そして若い人達とつき合って頭をばけさせず、たえずものを考える頭をつくっていくことだと言っていた。

健康づくりと難しい事を考えず、自分のすきな事をどんなやる事が、どうも健康のひけつらしい。考えてみると健康づくりは、自分の考え次第で意外と簡単にできるものだなと、祖父母をみてそう思った。世の中の皆が笑って毎日過ごしたら、病氣の方から「さようなら。」と逃げていってしまうのじゃないかと思う。

僕も今日から、病原菌がはびこるすきまがないくらい、元氣菌でいっぱいにし、笑って毎日過ごす事を一番の健康法にしようと思った。



三隅町標準小作料の改定について

三年毎に見直しされる標準小作料が別表のとおり改定されました。

これは農地法第二十四条の二の規定により設定されるもので適用期間は平成五年四月より平成八年三月までの三か年です。

貸手、借手の双方で小作料を決める際にこの標準小作料を目安としてご利用下さい。

三隅町標準小作料

(10アール当り)

田の部			畑の部		
農地区分	小作料の標準額	備考	農地区分	小作料の標準額	
上田	25,000円	生産量 540kg	上	10,000円	
中田	17,000	生産量 480kg	中	6,800	
下田	10,000	生産量 420kg	下	4,000	